

平成28年度 北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況

施策の展開	事業目的	事業名(新規・拡充事業)、事業の概要	予算額	重要業績評価指標(KPI) 目標年:平成31年				
			単位:千円	指標	指標値	現状値	単位	現状値時期
【基本目標1】 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる			数値目標:新規雇用増加数 400人 → 現状(H28.3) 85人					
(1) 新函館北斗駅及び周辺における雇用の創出	北海道新幹線開業による地域経済の活性化に向け、新函館北斗駅前街区への企業立地による雇用の創出と新函館北斗駅及び周辺地区における集客力を高める施策を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅周辺地区企業立地補助金 新駅周辺地区の事業活動及び交流機能を促進する都市機能の創出、民間の事業活動の活性化及び雇用機会の拡大のため立地した企業に対し投資費用、経営費用について助成。 ・新駅賑わい創出イベント開催事業 市外からの誘客を図る北海道新幹線開業後における新函館北斗駅周辺の賑わいを創出するため、北斗市の食や観光、文化を発信し、北斗市を訪れるお客様へのおもてなしと、市内を周遊していただくためのイベントを4月～11月まで新函館北斗駅前にて北海道と共同でイベントを開催。 	74,134	企業立地数(物販店舗を含む)	50	11	社	H28.3
			55,000	雇用増加数	300	72	名	H28.3
(2) 北海道新幹線の拠点機能を活かした観光振興	北海道新幹線の拠点機能や自然資源を活かした食と観光の振興を図るとともに、文化・スポーツ施設を活用した合宿誘致などにより交流人口を拡大する施策を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センター別館整備事業 新函館北斗駅前第1街区に民間会社が建設するホテルの1階部分を市が購入。平成29年3月開業。 ・田んぼアート実施事業 田んぼアートの取り組みを通じ、北斗市の地域のPR、農業観光の推進、米の消費拡大等の推進、地域貢献に資することを目的に実施。 ・観光プロモーション事業(ほっとマルシェおがーるクーポン券事業) 北海道新幹線開業のターゲットとなる首都圏・東北において4月から11月にかけて観光プロモーションを実施。(8イベント) その際、おがーるで1,000円分の商品と交換可能なクーポン券を配布し、誘客促進及び動態分析に繋げた。 ・新駅駅前公園プロジェクトライティング事業 閑散期における新函館北斗駅の賑わい創出や新たにオープンする駅前ホテル・観光交流センター別館の賑わい創出を図るため、新駅駅前公園において映像や光を利用したライティングを実施するもの。 11月16日にプロポーザルで施工業者が決定され、2月中旬からライティングを開始する予定である。 	480,754	観光入込客数	1,500,000	1,058,328	人	H28.3
			1,000					
			4,840					
			11,778					

平成28年度 北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況

施策の展開	事業目的	事業名(新規・拡充事業)、事業の概要	予算額	重要業績評価指標(KPI) 目標年:平成31年				
			単位:千円	指標	指標値	現状値	単位	現状値時期
(3) 特産品開発と6次産業化の推進	津軽海峡と肥沃な大地がもたらす豊富で安全・安心な一次産品を活かした特産品の開発・販売と6次産業化を推進する施策を展開	・展示会等出店支援事業 国、道、自治体等の公的機関又は公共的団体が主催・共催する物産展・商談会等に参加する際の出展費用の一部を助成。	350	新規開発特産品数	50	10	製品	H28.3
		・新幹線沿線特産品販売事業 閑散期における新函館北斗駅の賑わい創出及び交流人口の拡大を図るため、北海道新幹線開業でアクセスが向上した、首都圏・東北沿線地域の魅力ある特産品を集めた販売イベントを2月中旬に開催予定。	1,917					
(3) 特産品開発と6次産業化の推進	津軽海峡と肥沃な大地がもたらす豊富で安全・安心な一次産品を活かした特産品の開発・販売と6次産業化を推進する施策を展開	・ふるさと納税を活用した特産品PR ふるさと納税ポータルサイトへの登録により、寄附の受付や返礼品の発送という業務を一括委託するとともに、ポータルサイト及びSNSによるふるさと納税のPR活動を行う。	959	一次産品直販施設販売額	250,000	167,986	千円	H28.3
		・新商品研究開発・普及促進支援事業 北海道新幹線開業を契機とし、市内の商工業者が開発する新商品の開発に対しその経費の一部を補助	2,500					
(4) お客さまをお迎えする	新函館北斗駅がある街にふさわしい、旅行者の皆さまをお迎えする新たな風土を育む施策を展開	・観光施設誘導看板設置事業 きじひき高原などへの誘客促進を図るため、国道・道道沿いの主要地点に誘導看板を設置するもの。9月に実施設計が完了。 道路占用許可などの協議が終了後、設置工事の入札を行う。	15,320	市内宿泊客数	90,000	24,561	人	H28.3
		・外国人向け指差し会話シート作成事業 市内飲食店や宿泊施設に外国人観光客が訪れた際、最低限の意思疎通が可能となる指差し会話シートを作成するもので、年度内に完成予定。	441					
(5) 二次交通の充実による交流人口の拡大	市内の魅力を結び、交流人口が広がる基盤となる公共交通を充実する施策を展開	・新駅周辺花壇植栽事業 新函館北斗駅のイメージアップを図り、彩りと明るさを添え、賑わいを創出することで、観光客・帰省客に心地よい印象をもって頂くことを目的に実施。	9,460	市内運行の路線バス乗車密度	6.3	6	人	H28.3
		・新駅二次交通案内看板等設置事業 新函館北斗駅からの二次交通(バス、タクシー、レンタカー)の利用環境の向上と利用者増を図るため、情報案内看板を駅前広場に設置。	4,780					
(5) 二次交通の充実による交流人口の拡大	市内の魅力を結び、交流人口が広がる基盤となる公共交通を充実する施策を展開	・バスICカードシステム整備事業 個人観光客の利便性向上を目的とするため、函館バスが導入するICカードシステムの導入に対する負担金であり、市の南北市街地連絡バスでも利用可能となる。	7,340					

平成28年度 北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況

	施策の展開	事業目的	事業名(新規・拡充事業)、事業の概要	予算額	重要業績評価指標(KPI) 目標年:平成31年				
				単位:千円	指標	指標値	現状値	単位	現状値時期
(6)	企業立地による雇用創出と地域経済の活性化	北斗市の立地環境の優位性を活かした企業立地によって企業の競争力を高め雇用を創出する施策を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・地方拠点強化税制(固定資産税不均一課税) 国の地方拠点強化税制(首都圏等からの本社機能移転が行われた場合に、税制上の優遇が図られる制度)を活用し、市においても固定資産税の特例措置を実施し、本社機能の移転を促すもの。 ・企業立地補助金 市内に工場、特定事業所等立地する企業に対し、投資額2,500万円以上で雇用増加を見込める場合その一部を助成。 	-	新駅周辺以外への企業立地数(増設含む)	10	2	社	H28.3
				0	雇用増加数	100	13	人	H28.3
(7)	まちをもっと元気にする産業振興	一次産業の高収益化や商店街の活性化など、まちを元気にする地域の産業振興を図る施策を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・各業種への既存補助、支援制度の継続(代表的なもの) 農業…農業新規参入者支援事業補助金 漁業…新規漁業就業者支援事業補助金 商業…本町商店街活性化事業補助金 	-	新規就農者数	10	1	人	H28.3
				新規就漁者数	5	1	人	H28.3	
				新規起業・創業者数	25	4	人	H28.3	

平成28年度 北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況

施策の展開	事業目的	事業名(新規・拡充事業)、事業の概要	予算額	重要業績評価指標(KPI) 目標年:平成31年				
			単位:千円	指標	指標値	現状値	単位	現状値時期
【基本目標2】 北斗市らしさを活かして人を呼び込み、呼び戻す 数値目標:社会動態の均衡 → 現状(H28.3) 245人転出超過								
(1) 移住・定住の促進	北斗市らしさを積極的に発信し、人を呼び込み、呼び戻すとともに、北海道新幹線をはじめとする高速交通体系網の拠点エリアとしての優位性を活かしたI・J・Uターンや空き家バンクなどによる移住・定住に関する施策を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住対策事業 市の現状・可能性を情報提供しながらアンケート調査をし、多様な「移住志向」の中から「共感」を得る「移住志向」のタイプを分析して明らかにし、今後の最適なプロモーションや施策の進め方をまとめる。 また、空き家の有効活用を通して、空き家の解消及び移住・定住の促進による地域課題の解決を図るため、11月に空き家バンクを開設した。 ・空き家対策事業(実態調査・データベース化) 市内にある空き家住宅等の実態調査、所有者アンケート、データベース化を行い、移住・定住対策事業との連携した取り組みを推進する。 	8,273	札幌圏及び道外からの転入者数	700	547	人	H28.3
			10,068	首都圏との人口異動	均衡化	146人 転出超過	-	H28.3
(2) 政府関係機関、民間機能の地方移転誘致の推進	北海道新幹線をはじめとする高速交通体系網の拠点エリアとしての優位性を活かした政府関係機関や民間企業の本社機能(出先機関・研究機関)の地方移転誘致を推進する施策を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・政府関係機関の誘致の取り組み 平成27年度、地方への新しい人の流れを作るために位置づけられた「政府関係機関の地方移転」について、新駅前の市有地への「農林水産研修所(東京都八王子市)」の誘致について協議した。 ・地方拠点強化税制(固定資産税不均一課税)(再掲) 国の地方拠点強化税制(首都圏等からの本社機能移転が行われた場合に、税制上の優遇が図られる制度)を活用し、市においても固定資産税の特例措置を実施し、本社機能の移転を促すもの。 	-	誘致活動の取組	2	1	件	H28.3
(3) 交流人口の拡大	文化・スポーツ施設を活用した文化・スポーツ合宿の誘致と全道・全国規模の大会を誘致するなど、交流人口を拡大する施策を展開 茂辺地地区と石別地区にしかない良さを活かし高めることで、両地区における交流人口の拡大する施策を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・運動公園拡充事業 現在の運動公園の隣接地にサッカー・ラグビー兼用グラウンド、クラブハウス、駐車場等を整備する。 ・スポーツ合宿推進事業 市内に2泊3日・5人以上で宿泊するスポーツ団体に対して、1人1泊2,000円の補助金を交付するなどの優遇措置を設けてスポーツ合宿誘致を図っている。 11月末現在で延べ35団体、延べ宿泊者数2,862人の実績となっている。 ・茂辺地、石別地区創生事業(地元会議の開催) 市内でも特に人口減少の激しい茂辺地・石別地区の地方創生を進めていくため、地元住民による会議を開催。(別紙資料) 	335,174	合宿誘致による交流人口数	5,500	4,649	人	H28.3
			10,135	茂辺地地区・石別地区の交流人口数	90,000	86,122	人	H28.3

平成28年度 北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況

施策の展開	事業目的	事業名(新規・拡充事業)、事業の概要	予算額	重要業績評価指標(KPI) 目標年:平成31年				
			単位:千円	指標	指標値	現状値	単位	現状値時期
【基本目標3】 子どもを産み、育てたいという希望をかなえる								数値目標:合計特殊出生率 1.55 → 現状(H28.3) 1.37
(1) 子育て支援の推進	妊娠・出産からお子さんの成長に応じたニーズの把握と子育て支援の進化に向けて施策を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援部署の設置 子育て世帯へのきめ細やかな対応を行うため、子ども・子育て支援課をH28から設置 ・産前産後サポート事業 妊娠・出産相談(母子手帳交付時等相談事業)、産後宿泊ケア事業(出産後、母子ともにケアしてくれる家族がいない場合利用可能)、育児支援ヘルパー派遣事業(妊娠中及び産後6カ月以内で家族から十分な支援が受けられない方等への家事援助や育児援助)を実施 ・ロタウィルス予防接種事業 任意予防接種であるロタウィルス予防接種接種者への助成 ・不妊治療助成事業 特定不妊治療助成(道の助成を拡大して市から助成)及び一般不妊治療助成(特定不妊治療をする前の不妊治療を行っている夫婦に対する助成)を実施 ・障害児おむつ給付事業 日常生活用具の給付の対象とならない、制度の谷間にいる者を救済するため、対象者(対象疾病)を拡大し行うもの。 	- 2,971 3,600 7,500 1,980	出生数	320	319	人	H28.3
(2) 子どもの力を引き出す教育環境づくり	子育て支援とともに子どもの持っている潜在的な能力を引き出し、さらに高める教育環境をつくる施策を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・対外競技参加等補助事業(既存) 市内小中学生の対外競技等の経費について一部補助をすることにより父母負担の軽減を図る。 ・特認校通学補助事業(既存) 自然、歴史、文化その他の恵まれた環境を生かした小規模の小中学校への区域外就学を一定の条件のもとに認める。 	- -	児童・生徒数	3,773	4,180	人	H28.3
(3) 社会気運の醸成	未婚化・晩婚化・晩産化について、国や道の取り組みとの連携を図り、人口問題に関する社会気運の醸成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・民間による婚活事業へのサポート 商工会青年部が実施する鉄道(いさりび鉄道、北斗星)を利用した婚活事業に対し、市で提供可能なサポートを行っている。 	-	結婚率	4.2	3.6	%	H28.3

平成28年度 北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況

施策の展開	事業目的	事業名(新規・拡充事業)、事業の概要	予算額	重要業績評価指標(KPI) 目標年:平成31年				
			単位:千円	指標	指標値	現状値	単位	現状値時期
【基本目標4】 住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る 数値目標:人口 46,200人 → 現状(H28.3) 47,369人								
(1)	コミュニティ機能の向上	高齡化や人口減少の進行による地域力の低下を防ぐため、地域コミュニティ機能を維持・向上する施策を展開	10,068	町内会加入率	86.3	84	%	H28.4.1
(2)	市町間連携による暮らしの機能の維持	市町村連携による広域的な視点や民間団体・企業の参加促進も含めて、その機能をつくり守る施策を展開	9,500	道南いさりび鉄道輸送密度	600	618	人	H28.9
			1,159	定住自立圏協定に基づく連携項目	8	8	項目	H28.3
(3)	都市インフラ・公共施設の延命化	道路や橋梁など都市インフラの延命化や公共施設の施設改修等を計画的に実施	29,152	計画的な施設改修による維持管理費	平準化	-	-	-
(4)	茂辺地地区・石別地区の地域振興	両地区は市の中でも特に高齡化や人口減少の傾向が増しており対策が急がれるため、地域の基幹産業である漁業の振興とあわせて、地域に魅力の再発見とその特色を活かした地域の方々を誇れる地域づくりに関する施策を展開	-	茂辺地・石別地区の人口の社会動態	均衡化	8人 転出超過	-	H28.3